

オオガハスの花が水辺を彩ります

7月に入り、次々に花を咲かせるオオガハス。早朝に花を開き、夕方閉じる日々を繰り返し、4日目には閉じずに花を散らせませす。後には花托（かたく）を残し、大きく成長しながら、丸い穴の中にどんぐりほどの黒い種を作ります。

泥の中から葉や花を水面に出しますが、汚れはなく（*ロータス効果）、清々しい感覚を与えてくれます。

* 葉の表面の無数の突起が水を玉にして汚れを流す…建築材などに応用されています。

